

# 市議団ニュース

連絡先 2019年11月24日号  
 杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058  
 石田利春 52-7260 平間益美 23-9519  
 【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】  
 「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です



## 2019年11月議会日程

月 日	曜日	適用
11月25日	月	本会議 議案の上程
11月29日～12月5日		一般質問 右の表
12月9日	月	本会議 議案質疑
12月10日	火	総務財政市民 常任委員会
12月11日	水	福祉健康 常任委員会
12月12日	木	建設上下水道 常任委員会
12月13日	金	教育環境 常任委員会
12月19日	木	本会議 討論・採決

開会時刻は9時からです。  
是非傍聴にいらしてください。

11月議会が始まります。今議会の焦点は、台風19号における久喜市の対応について検証することが第一に問われます。  
 久喜市は初めて避難勧告を発令し避難を呼びかけましたが多くの問題点、課題が出ています。  
 この間、日本共産党久喜市議団では、市民の皆さんに「緊急市民アンケート」をお願いし、集約中です。  
 皆さんからの声や提案を受け、洪水時においても犠牲者ゼロの久喜市をめざして一般質問にのぞみます。

## 一般質問の日程

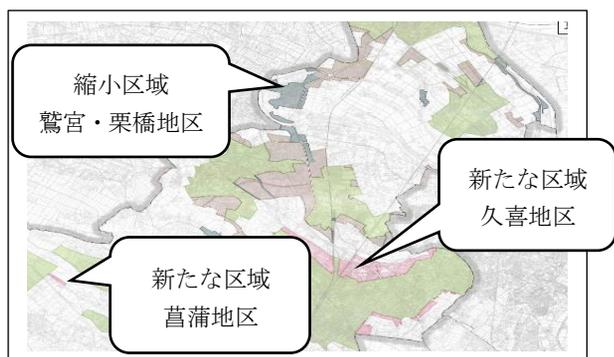
11月29日(金)  
 杉野 修 議員 3番目 午前中  
 平間ますみ議員 6番目 午後  
 12月2日(月)  
 石田 利春議員 2番目 午前中  
 渡辺まさよ議員 3番目 午前中  
 時間は、あくまでも予定です。

# 洪水時に市民の命を救い 犠牲者ゼロの対策を求め登壇

## 都市計画法の34条の第11号

# 開発許可区域の見直し案示される

都市計画法34条の11号の見直し区域



地域	現在	見直し	見直し後
鷺宮	290ha	- 53ha	237ha
栗橋	178ha	- 70ha	108ha
菖蒲	3.75ha	+ 2.5ha	6.25ha
久喜	0ha	+ 113ha	113ha
合計	471ha	- 8ha	464ha

### 全員協議会開催

11月18日全員協議会が開催され、住宅開発を進める許可区域都市計画法34条第11号の見直しについて説明がありました。  
 久喜市は合併して10年目を迎えています。開発区域については、合併以前のままで見直しはされずに来ていました。  
 今回埼玉県「まちづくり埼玉プラン」の改正に伴い久喜市全体の見直しを進め、新たな開発許可区域が示されたものです。基本的な方向は縮小です。土地開発に伴う改正は影響が大きいことから議会においても見直しは慎重に議論を重ねて来ました。

### 鷺宮栗橋地区は縮小 久喜菖蒲地区は拡大

今回の基準、市街化区域からの距離が100mから500m以内などの基準に基づき見直した結果、全体的にはこれまで開発区域指定されていた鷺宮・栗橋地域を縮小し、久喜地域は新たに開発区域が指定されることとなります。  
**今後のスケジュールは**  
 今後2020年1月18日に栗橋・鷺宮地区で、翌19日に久喜・菖蒲地区において説明会を開催し、3月には「都市計画審議会」の審議を経て3月末に告示、2021年4月1日より見直し区域で運用開始の予定です。

## 平間ますみ

久喜市本町8-4-1



### 1 中落堀川、五領大橋から五領橋にかけての浚渫の実施を

台風19号では避難勧告などが発令されました。その時、本町八丁目五領橋付近の中落堀川も越水の恐れが生じました。五領大橋から五領橋にかけての浚渫要望は、これまでも幾度となく取り上げてきましたが再度要望します。

### 2 緊急時の市民への情報発信について

10月13日の午前2時に防災無線で発令された避難勧告は、雨と風の影響で聞き取りにくく、多くの市民が情報を知ることなく過ごしました。情報の在り方を早急に検討する必要があります。

### 3 災害で被災した他自治体への支援について

台風15号・19号で被害を受けた自治体への支援体制が見られなかったのではないかと考え、今なお復旧作業が続いている自治体に対し、何らかの支援を行う必要があるのではないかと考え質問します。

### 4 公民館の施設整備、備品の補充について

市内公民館の施設については、雨漏り対策、冷暖房対策など多くの要望が出されています。青葉公民館、中央公民館について改善を要望します。

## 石田としはる

久喜市栗橋東5-7-2



### 1 水害による「犠牲者ゼロ」をめざす対策が求められている

台風19号における久喜市の水害の対応、活動体制はどうであったのか。避難勧告を始めて発令し、栗橋小学校には朝の6時現在で1688人の方が避難。1階から4階まで人で埋まりました。今回の対応で問題点として捉えていることは何か、改善すべきことは何かを問います。

栗橋地域においては、洪水浸水想定が「家屋倒壊等氾濫想定区域」にハザードマップで示されています。広域避難が求められており、訓練を含めて実施を求めます。

### 2 南栗橋液状化対策 モニタリング調査の継続が必要

地下水位を把握することで「安心」が得られます。

### 3 済生会栗橋病院 現在地での医療確保に向けての取り組み

医療継続と交通手段の確保は栗橋市民の強い要望です。

### 4 公共交通の運賃値上げは、利便性向上にはならない

デマンド交通は、特別交付税の対象事業、80%が国から交付されていると推定される。値上げすれば、国からの交付額を減少させ、市民負担を増大させる。「交通弱者の方」のお出かけにブレーキをかけ健康増進にもブレーキとなる。値上げは止めるべき。

# 市民のいのちと暮らしを守る久喜市政にしよう！

## 杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504



### 1 東鷲宮駅の西口工事箇所、利用者本位に改善を

現在の「う回路」は狭くて、通行に支障があります。工事の進捗に応じて、通路部分を広げるよう配慮をもとめます。また、車いすの方も西口に行けるよう警備をかねた人の配置を求める。

### 2 市職員と教職員の健康管理向上と人権侵害防止を

市の職員、学校の教員や職員の共通した問題として、「うつ」など精神疾患やその他の病気などで長期に休業しているケースがある。職場に再復帰できるよう丁寧な「復帰計画」を立てること。また「職員・教職員間でのいじめ」は久喜市には存在していないか。把握のための調査も実施すべきではないか。

### 3 台風19号の教訓から、市民とともに防災計画の見直しを

- (1) 総括の会議はやったか。また当日動員した職員総数は。
- (2) ハザードマップでの利根川決壊場所の想定根拠は。
- (3) 避難先の学校での対応（備蓄食料の配布、運営など）がまちまちだったが、「避難所運営マニュアル」で統一した対応を。
- (4) 職員対象に防災専門家による研修を計画実施してほしい。
- (5) 市民を対象に「防災ワークショップ」を開き、今回の経験を総括集して、市民からの減災提案を出してまとめてはどうか。
- (6) 利根川決壊を想定した諸準備を進めつつ、堤防をさらに強化して、「壊れない対策」をすべきで、国や県にも要請を求めて。

## 渡辺まさよ

久喜市所久喜705-3



### 1 幼児教育・保育の無償化の改善を

無償化が10月から開始されたがその影響が待機児童の増加へ繋がっているのではないか。また自己負担となった給食費は無償とすべきであり、指導監督基準に満たない認可外保育施設は条例で対象外とすべき。保育士の処遇改善や認可保育施設の増設こそ進めるすすめるべきではないか。

### 2 台風19号の対応について、課題の対策を求める

市民が避難してきた避難所は命を救う上でも開設をすべき。今回開設した避難所と、開設しなかった避難所の区別その理由は。また、工業団地内の企業等と協定を結び、指定避難所を増やすべきだ。

### 3 借楽荘で行った大規模な避難訓練をさらに他の福祉施設へ広げるべき。

### 4 清久工業団地周辺の緑地帯は、樹木が倒れたままの状況で管理がひどい。見直しを。

### 5 環境経済部が所管する農業政策・商工観光行政とゴミ問題・環境行政は負担が重すぎる。分割させ、しっかりと課題に取り組める体制に改善すべきではないか。

### 6 各公民館のトイレ洋式化を早急に進め、使用料は無料にすべき。